

**令和6年度  
海外チャレンジ応援事業  
報告書**

**生涯学習課**

# — 目次 —

## 中学生

1 Kさん (信陵中学校 2年生)

## 高校生

1 Kさん (福島高校 2年生)

2 Sさん (福島北高校 2年生)

3 Oさん (福島高校 2年生)

4 Sさん (福島南高校 2年生)

5 Kさん (橘高校 1年生)

6 Oさん (福島高校 1年生)

7 Kさん (福島西高校 1年生)

信陵中学校 2年生  
Kさん

渡航先の国・地域名	オーストラリア	都市名	ケアンズ
事業全体の期間	R6 年 7 月 31 日 から	(計 10 日間)	
	R6 年 8 月 9 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

大人になって英語を使って色々な国との交流を持ち、国の特徴なども知りたいからです。
英語は難しいけれど、今後のために今のうちに学びたいです。
テレビでオーストラリアを見て行ってみたいと思い、そしたら今回のような機会があり挑戦してみたいと思いました。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

海外の人と交流して、英語を使い色々な人と少しでも話したりしたいです。
その国の文化なども知って、今後に活かしたいです。
また、オーストラリアの家はどういう感じなのかも気になりました。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

英語の授業でオーストラリアで使った語句などを使って話したいです。
社会人になった時に英語を使いたいので、そのためにたくさん勉強したいです。そして帰った時に、友達などにオーストラリアはどんな感じだったかを話して、皆にもオーストラリアのことをもっと知ってもらいたいです。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

良くできた点
・皆と協力して英語を使って話せた
・沢山の単語を覚えられた
不十分だった点
・あまり積極的にいけなかった

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

現地のオーストラリアで知った沢山の単語を学校の授業で生かしたいです。
また、今回の研修を通して、将来は英語を使う仕事をしたいと思いました。
大人になって英語を使う仕事についたら、海外の人に日本の良さを教えて、日本に興味を持ってもらいたいです。ですので、今回のことを様々なことに生かしたいです。

福島高校 2年生  
Kさん

渡航先の国・地域名	オーストラリア	都 市 名	ケアンズ
事業全体の期間	R6 年 8 月 3 日 から	(計 9 日間)	
	R6 年 8 月 11 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

SNS を見ていた時に、他の国の授業の様子や、日本人との考え方の違いというコンテンツを見つけて、日本以外の国の価値観や文化に触れてみたいと感じたことが第一のきっかけです。ここ数年コロナ禍で、海外に行きたくても行けないという状況が続き、海外の文化に触れる機会がないまま高校生になり、来年は受験シーズンとなるため。今年の夏が絶好の機会と考え応募に踏み切りました。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

今回の海外チャレンジを通じて、普段の生活をしていれば出会うことはなかったであろう人々とコミュニケーションをし、様々な価値観に触れたいです。そして、自分の中にある固定概念や偏見など、自分で気づいていないことを知り、視野を広げられるような考え方について学びたいと考えています。

新たな価値観について学ぶことができれば、帰国後の生活がより豊かになっていくと思います。また、語学力の向上にも努めたいです。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

海外の価値観や文化に触れたことで、改めて母国である日本の良さを見つけ、周りの人々に他国と日本の良さを見つけ、また、共通点と異なる点を伝えたいと思います。

友人も別な国への短期留学を計画しているので、その国とオーストラリアとの違いなども話し合っ、異文化の理解を深めたいです。また、将来は長期留学したいとも考えているので、その際に今回の経験を活かして準備を進めたいです。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

私は今回の研修を通じて日本や福島との文化の違いを学ぶことができたと思っている。特に、食文化や学校生活、買い物でのマナー等は、私が今まで生活してきた環境と大きく異なっていた。日本のように細かいルールがなく、自由の精神というものが強く感じられた。今まで知らなかった文化を知ることができたという点では、とても良い経験だったと思う。不十分だった点は英語力である。ホストファミリーや先生が言っていることが理解できず曖昧に返事をしてしまったり、自分が伝えたいことがあっても英語で伝えることができず翻訳機に頼ってしまったりしていた。また、1週間という短い期間であったということもあるが、この研修期間で英語が上達したという実感はわかかなかった。また、自分の英語力を過信していたことに気づかされた。
--

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

今まで普通だと思っていた文化が日本特有の文化だと気づくことができたため、その特有の文化を大切にしていって、今回の研修で学んだ他国の文化を友人など周りの人々に伝え、異文化への理解をより深めていきたい。また、将来長期の海外留学も視野に入れているため、今回の研修で通関した英語力の低さを改善できるよう、毎日のように英語に触れ、訛りが入った英語などにも慣れるよう努力したい。そのような生活を心がけ、若いうちに様々な経験をたくさん積み、その経験を活かして、福島に貢献出来る様に努めていきたい。

福島北高校 2年生  
Sさん

渡航先の国・地域名	オーストラリア	都市名	ブリスベン
事業全体の期間	R6年7月28日から	(計 15 日間)	
	R6年8月11日まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

私が5歳の時に叔母が留学しました。叔母が帰国後、海外での話を聞いたり、実際に使っていた硬貨やお土産を貰ったことが海外に興味を持った最初の出来事でした。
日本と違う文化や生活様式、雰囲気をも自分でも味わってみたいと思い、海外に行ってみてみたいと思いはじめました。
小学校入学と同時に英会話教室を受けさせてもらって、英語を使うといういつもとは違うコミュニケーションの新鮮さが楽しく感じ、10年以上続けてきたので、自分の英語がどのくらい通用するのか気になったのも理由の一つです。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

比較的日本と近い国でも、どのくらい日本と違うのか、文化や生活様式の違い、海外特有の雰囲気がどのようなものかを現地で学びたい。また、オーストラリアと日本を比べて、日本の良いところと悪いところなどの違いを見つけて、学校の研究学習に役立てていきたい。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

オーストラリアの他にもいろいろな国に行きたいと思っているので、留学して感じた自分に足りない能力を伸ばしていきたい。自分が海外に行って分かった日本との違いや、日本で生活していくうえで取り入れたらよいと感じたものを記録しておき、学校の研究学習に活かしていきたい。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

オーストラリアの動物や、お店、町の特徴などを学べた。店員さんに分からないことについて質問したり、
周りにいる人に道を教えてもらったりして、自分から積極的に英会話をするように心がけたこと、歩いている
途中も周りを見たり流れているモニターの音声を聞いたりして、ブリスベンの雰囲気を感じられたことが
よくできた。不十分だった点は、プログラム内で英語よりも日本語を使う場面が多かったところと、最初の
5日間くらい、消極的になってしまっていたところである。周りに合わせすぎず、自分から積極的に行動
してみる事が大切であると学ぶことができた。

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

自分から積極的に行動して、自分が頑張りたいことをできるようにしていきたい。
多様性についての理解も深めることができたので、もっと幅広い考え方ができるようにする。
日本と違うオーストラリアの仕組みや文化の中で、日本にも同じようなものがあると便利だなと思った
ものを、将来仕事に就いたときに実現できるようにする。

福島高校 2年生  
Oさん

渡航先の国・地域名	オーストラリア	都 市 名	ケアンズ
事業全体の期間	R6 年 8 月 3 日 から	(計 9 日間)	
	R6 年 8 月 11 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

海外での学習によって異文化に触れ、自分の視野を広げたいと思っています。他の国の人と話すことで、今までとは違う考え方を身に着けたいです。そして、高校生のうちに様々なことを経験し、自分の将来に活かしたいと考えています。また、新たなことに挑戦したいと思ったからです。海外に行くことや、知り合いのいない中で数日間過ごすことなどを通して、語学スキルだけではなく、自分自身も成長したいと考えています。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

海外の文化や習慣だけではなく、現地の人々の様子や気候など、あらゆることを自分の目で見て、肌で感じたいです。日本にいたるだけでは経験できないことを学びたいです。特に、現地で自分の英語がどの程度通用するのかを知るとともに、失敗を恐れずにたくさん会話をすることで、英語の能力やコミュニケーション能力を伸ばしたいです。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

実際に海外に行って、刺激を受けたことを活かして、学習へのモチベーションをあげて、スキルアップを目指したいです。そして、英検やGTECなどの試験に活かしたいです。また、現地に行って具体的にどのようなことを学んだかを振り返り、より意義のある留学だったと思えるようなものにしたいです。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

私はこの留学でオーストラリアの人々の多様性を学びました。現地の高校を訪れた時に、白人と黒人の子が楽しそうに話していたり、男の子2人がハグをしていたり、人種や年齢、性別に関係なく、皆がお互いを尊重していることに深く関心しました。また、その高校では自分で学びたい科目を選ぶという自主性もあり、とても良い環境だと感じました。授業は日本とは違い、みんなが発言したり、手をあげたりしていました。
この留学の間、たくさんの人と英語で話すことができましたが、たまに聞き取れず、何と返事をしたらよいか分からなくなってしまい、まだ勉強する必要があると感じました。

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

ある程度自分の英語が通じたが、日本語のようにスラスラと話すことができなかったので、もっと勉強する必要があると強く感じました。英文を読むよりも、実際に英語で話すほうがリスニングとスピーキングの練習にもなるので、実践していきたいです。また、「円」を「オーストラリアドル」に換金する時に、為替の動きによって損をしたり得をしたりするのが興味深いと思い、大学で何を学びたいかということにも活かしていきたいです。
経済と国との関わりなどに注目してみたいと感じました。

福島南高校 2年生

Sさん

渡航先の国・地域名	韓国	都 市 名	ソウル
事業全体の期間	R6 年 8 月 6 日 から	(計 10 日間)	
	R6 年 8 月 15 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

私は国際文化科に所属しており、今まで英語学習や国際交流活動を通して、海外への強い関心を持つようになりました。英語圏だけでなく、ベトナム、ラオスといったアジア諸国について学ぶ機会やドイツの高校生との交流を通し、幅広い視点で社会を学びたいと思うようになりました。特に隣国の韓国に関心を持っております。K-POPなどで若者達の交流が進んでいるものの、政治的、歴史的な問題があることを知りました。実際に韓国へ行って、韓国語の向上だけでなく、韓国の分方社会問題を深く理解したいと思い、留学を希望しています。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

韓国について、ネットやテレビといったマスコミ報道から得られる知識で、反日感情の強い国と思われがちですが、実際はどうなのかを知ること、学ぶことが目的です。韓国文化、生活、言語に直接触れることが、先入観にとらわれない韓国を知ることができると思います。今まで独学で学んできた韓国語を、恥ずかしがらずに、積極的にコミュニケーションをとり、韓国の人とつながる経験が出来るように努力する覚悟です。韓国は、日本と同様にジェンダーギャップが激しい国だと知り、同じような課題を抱える国として、同世代の若者がどのように考えているか話し合ってみたいです。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

韓国留学で得た経験や学びを、周りの人たちに伝えたいと思っています。隣国でありながら、言語や文化などが違う国への理解を深めてもらえるように、今後も福島県の国際文化協会などの活動にも参加していきます。また、自己の韓国語の向上のため、韓国語検定に挑戦し、高いレベルの級の取得を目指します。将来は日本の文化や日本語を教える日本語教師を目指し、様々な国の異文化力を深めていきたいです。グローバル社会で活躍できる人材になれるように、大学進学に向けて努力します。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

今回の留学を通して非常に多くの学びと、貴重な体験を得ることができました。語学面では、現地での日常会話や実践的なコミュニケーションを通して、教科書では得られない実用的な表現やニュアンスを学ぶことができました。特に、韓国語特有の敬語表現や微妙なニュアンスの使い分けを肌で感じることは、とても大きな収穫でした。また、言語だけではなく、文化や価値観についても触れることができました。
一方で不十分だった点としては、留学期間が短かったことから、語学や文化に対する理解を更に深めるには至らなかったところです。また、語彙の不足や会話における表現力の限界を感じる場面もあり、更なる努力が必要であると痛感しました。スケジュールが詰まっていたこともあり、現地の生活にじっくりと浸る時間が不足していたと感じました。

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

今回の留学を通し、更に韓国語を勉強して力をつけたいと強く思うようになりました。現地で実際に使用した韓国語を振り返りつつ、自身の課題を明確化し、それを克服するための計画を立て今後も学習していきたいと思います。特に、語彙力の拡充とともに、より自然な会話表現を習得するため、実際の会話を想定した練習や、韓国語で書かれた書籍やドラマ等を活用し、表現の幅を広げていくつもりです。またTOPICの取得にも挑戦しようと思います。こうした取り組みを通じて、単に語学や文化を生部だけでなく、国境を越えて多様な人々と理解しあえる力を育むことを目指しています。将来は国際的に活躍できるような職につき、日韓の関係をよりよくしていきたいです。この目標を実現するため、今回の留学で得た全ての経験を活かし、これからも努力をしていきたいと思っています。
--

橘高校 1年生  
Kさん

渡航先の国・地域名	アメリカ	都 市 名	セントジョージ
事業全体の期間	R7 年 3 月 21 日 から	(計 11 日間)	
	R7 年 3 月 31 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

小学生の時に赴任された英語科の先生が、皆さんの前で英語でスピーチをしているのを見た時に、とても かっこよくて憧れを抱きました。いつか先生のように英語で話してみたい、そう目標に英語を勉強して きました。そして、海外に行つて異文化を感じてみたいとも思っていました。
高校生になった今でももっと英語力を上げたい、様々な国の方の世界観を感じたり話をしたい、海外での 学習をしたいと思っていました。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

今回はアメリカ合衆国ユタ州での学習を選びました。日本にはない広大な自然と古き良きアメリカの空気を 感じてみたいと強く憧れていて、ネイティブなアメリカの街と生活を感じ、現地のバディやホストファミリー とも意思疎通が取れるよう英語力を学びたいと思っています。
また、英会話には距離感のあるコミュニケーション力が必要だと感じていて、様々な年代や国の人とどうした ら良い雰囲気でも話ができかなども学びたいと思っています。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

まず、目標である英検準一級の取得へ向けて更に勉強したいです。
それから、このチャンスを与えてくれた皆様や先生、両親に習得したことの報告と感謝を伝えたいです。留学 は知識や時間、費用もかかります。こうした環境にいられることに感謝をしたいです。
また、留学を考えている後輩達にも経験を伝えたいです。そして、私自身も将来こうした夢を叶えられる ような社会であるよう地域貢献ができればよいなと思っています。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

セントジョージでの英語の学習は、今までとは全く別の視点で学習することができました。一番大きかったのは、LやRなどが入り混じった発音がどうしたら上手く言葉に出来るかという事です。また、英語の発音の時に声が出づらくなったりするのですが、それが克服できたことです。先生からもとても褒めてもらえて嬉しかったです。またスラングワードも習得することができ、現地の英会話に馴染めて話をすることやアメリカでの勉強が一日一日飛躍でき、とても良かったと感じています。
不十分だった点は、渡米初日から緊張したり食べ物が合わなかったりと少しネガティブになってしまい、ホストファミリーや学校で少し疲れてしまい、うまく活動に参加できなかった点でした。ただ、一緒に参加したメンバーがみんな同じ境遇だったと分かり、励ましあいながら翌日、翌々日と段々とアクティブに活動でき、その後は充実したとても楽しい時間を過ごすことができたと感じています。

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

現地で学んだスラングや肌で感じたアメリカ独自の文化など、実際に行ったからこそ知ることができた興味深い経験を、これから留学したいと考えている友人や後輩たちに伝えたいと思いました。留学するうえで大変だった事や友達ができたと、英会話に自信がもてたことなどです。また見るもの全てのスケールがとても大きく、英語圏の人たちや学校の先生や生徒の皆さんが明るくはっきりと意見を主張するところなど面白い意味での刺激となりました。ポジティブなところが自分自身も更に他国への興味を広げたいと思いました。そして留学で得た聞こえやすい会話や発音の仕方、目線の気を付け方など習得したスキルを活かし、大学受験や検定試験に向けて更に勉強に励んでいきたいと思いました。ご支援本当にありがとうございました。
---

福島高校 1年生  
Oさん

渡航先の国・地域名	カナダ	都市名	バンクーバー
事業全体の期間	R6年12月26日から	(計 10 日間)	
	R7年1月4日まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

きっかけは大きく分けて2つ挙げられます。1つ目は、学校のALTの先生や、習い事である英語スクールの外国人の先生といった身近な海外の方との交流です。特に、中学校でお世話になったALTの先生から、出身地であるバンクーバーについて詳しく聞く機会があり、日本とは大きく異なる移民の文化や自然環境を知り、とても興味を持ちました。2つ目は、海外で生活して活躍する存在が身近にいたことです。私の従妹は大学でハワイに留学し、現在は自身の海外の知識や語学力を生かして観光業に就いています。私は彼女から海外のホームステイの様子を聞き、自分も海外に行き、文化や地域の様子を自分で知りたいという思いが強まりました。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

今回の海外チャレンジでは、カナダの名門大学の学生とバディを組んで様々なアクティビティを行います。このプログラムには、ホームステイだけではなくバディを通しての文化交流の場があるため、そこでカナダの歴史や文化だけでなく、世代や出身の異なる相手とコミュニケーションをとるうえで大切なことを学びたいです。更に、バンクーバーは世界的にも移民が多い地域のため、宗教に対する考えや生活習慣の異なる人々とどのようにして共生しているのかを実際に自分の目を通して見たいと考えています。そして、現地の人々と対話を重ねることで、更なる語学力の向上を目指したいと思います。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

前述したとおり、私はバンクーバーで多民族の人々が共に暮らす多文化共生社会を形成するうえで重要なことや、その課題点を学びたいと思っています。現在日本では在日外国人の数が急増し、福島もその例外ではありません。そして彼らの多くは不安定な雇用や言語による障害、地域住民からの偏見といった問題にさらされています。それだけではなく、地域住民もまた地域の規定の違反、文化の違いによる軋轢に問題を抱えています。このような課題に対して、私は多文化共生を形成するバンクーバーという地域から、見習うべき点や課題点を吸収し、身近なことから誰にでも住みよい社会を作る解決策を模索していきたいと考えています。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

この研修を通じて、カナダで様々な人と触れ合いコミュニケーションを取って、私はやはり伝えようとする気持ちこそが最も重要なのではないかと考えました。ホストファミリーやバディの大学生だけではなく、店員の方と話すときも、たとえ何を言っているか理解することができなくても、自分から伝えようとするれば相手も汲み取ろうという姿勢をとってくれたのです。この研修により語学に対する感覚が、意思疎通のためのツールであるというものに、より近づいたように思います。また、研修前の知識としてバンクーバーは移民の多い地域であると知っていたけれど、本当に様々な人種の人々が共生している社会に触れることができました。ホストマザーは香港出身で、地下鉄に乗るだけでもあらゆる地域の人々が生活していることが分かりました。実際にそのような社会に触れることで、日本との違いをありありと感じました。
---

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

私はこの研修で、日本が多文化共生社会の実現のために何をすべきかということについて考えました。まず私が感じたのは、多文化共生社会にもタイプがあるということです。例えば、アメリカなどの先住民の土地に開拓や入植の時代から様々な人々が暮らしてきたタイプ、あるいはカナダやドイツなど現代において多くの難民や移民を受け入れているタイプ等が挙げられます。前者は、以前から多文化共生社会の基盤ができていたように感じます。そのため、日本が参考にすべきは、後者の既に築かれてきた文化に様々な文化が調和している状態だと考えます。私は、これからの福島においては日本の多文化共生のために、柔軟でありながら芯のある文化へ変容していく必要があると考えます。そのため、今回カナダで学んだ文化の在り方を、これからの探求を通して日本に最適なパターン化について調べていきたいと考えます。
--

福島西高校 1年生  
Kさん

渡航先の国・地域名	アメリカ	都市名	ニューヨーク
事業全体の期間	R6 年 12 月 22 日 から	(計 8 日間)	
	R6 年 12 月 30 日 まで		

## 研修前計画

### 1 海外での学習に関心を抱いたきっかけ

SNSなどで、他の人が留学し、現地の人々と交流をしている姿を見て、自分も言語の違う人と交流してみたい、異文化を体験してみたいという気持ちが強くなりました。友達の一人が、将来留学したいと考えていることを知って、日本だけでなく、海外に実際に行つて文化や習慣を学びたいと考えるようになりました。これらを通して、海外での学習に興味を持つようになりました。

### 2 今回の海外チャレンジを通じて学びたいこと

現地の言語を実践的に学び、コミュニケーション能力を高めること、異なる文化や価値観を学び、視野を広げること、新しい環境で生活することで、自分自身の成長を促進することなどを主に学びたいです。言語スキルを学ぶことで、大学の進学で有利になり、異文化理解を学ぶことで、差別、偏見を持たず、自立性を確立することで、責任感が育まれるからです。

### 3 海外チャレンジの経験を活かして、帰国後にやりたいこと

海外チャレンジで習得した言語スキルを活かして、他のクラスメイトや友達に、分からなくて困っているところをサポートしたいです。そして、チャレンジを通じて得た国際感覚を活かし、地域の国際交流活動や、ボランティア活動に参加したいです。そして、これらの活動を通じて、経験を活かしながら自分の成長に繋げていきたいです。将来は日本と海外をつなぐような仕事に就職したいです。

# 研修を終えて

1 あなたはこの研修を通じてどのようなことを学びましたか。良くできた点や不十分だった点を踏まえて下の枠内で述べてください。

中国人のホストファミリーと一緒に過ごしたことで、アメリカと中国の両方の文化を体験することができました。新しい、日本と全く違う環境にすることで、自分のスキルを試し、ベストを尽くすことができました。
しかし、咄嗟に返答することや、中国語なまりの英語を上手く聞き取る事ができませんでした。
アメリカの人々はフレンドリーでオープンなので、見知らぬ人に簡単に話しかけることを学びました。中華料理と中国料理は違うものだと感じました。

2 あなたがこの研修を通じて学んだことを、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。下の枠内で述べてください。

短期留学中、見知らぬ人と簡単に会話を始める方法を学び、人との交流に自信を持つことができました。
この経験を活かして、将来、特に職場で新しい人と積極的に関わりたいと思っています。
異なる文化の人々と働く機会を増やしながら、言語と文化の壁を乗り越え、職場でよりスムーズなコミュニケーションと、より強い関係を築くことを目指しています。